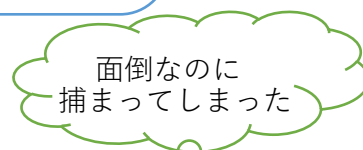


# IR組織のはじめの一步



今日訪問した大学、**IRの組織**は作っただけで、**データ分析**といってもどこから手を付けばいいかわからないって言うていてね。

IRの活動として何のためのデータを集めてどう分析していくか決まっていなみたいだよ。



そういうところ多いですね。

IR専門の教員の方が居られる大学は良いと思いますが、急に大学の担当者だけで対応しようとしている大学ではよく聞く話です。



そういう大学だと、どんなデータを分析すべきかもだし、そもそも**学内のデータを集めて整理していくことも困難**だよな。

でも、何らかの**結果は求められる**と思うし。



**学内**データの収集って、**意外とハードルが高い**んですよ。

だから最初のとっかかりとしては文科省などから出ているオープンデータを分析して、**ベンチマーク**となる他大学と比較したりする大学も多いようですよ。

ただ、**データの加工**って、やはりそれなりの**スキル**がないと難しいと思うんですよ。



《SRA東北って？》



データを**グラフ**など使って分かりやすくできれば良いけど、その**前処理**なんかは、俺も出来ないし。

そういうのうちのサービスで出来ないかな？  
やるとしたら、結構大変？

**各大学**が求める内容を行うとしたら、個別のシステム開発のような形で対応することはできるけど、それだと結果としてそれなりに費用がかかりますよ。

それよりは、学校基本調査など**オープンデータ**をデータ加工して定型的なレポート形式で提供できる仕組みを安価な**定額サービス**で提供した方がお客さん喜ぶと思うんですよ。

特にIR組織の立ち上げたばかりの大学でもその方が利用しやすいと思うんですよ。

筋トレ  
始めたよ



なるほどね。

でも、どんな感じで**サービス提供**するの？

うちでデータ加工してレポート化したものを何種類かクラウドサーバに準備するのがいいかと思います。定期的にデータのメンテナンスは行う形にして。

そうすればお客様は**データ加工無しで必要なデータを観れる**ようになりますね。  
(鬱陶しいなあ)

じ〜・・・



なるほど。大学もデータの加工・可視化よりも**分析に時間かけたい**だろうし、それをサービスとしていこうか！

サービス詳細は下記ページへ！

<https://www.sra-tohoku.co.jp/pkg/IR-Plus/index.html>

《SRA東北って？》